

# クローズアップ 学生

## 今、「見る、探る、作る」に熱中

大学院芸術工学研究科総合デザイン専攻2年 加藤 慧 (KATO kei)



神戸ビエンナーレ グリーンボールプロジェクト



ホテルパッチ



NHK土曜ドラマ「ジャッジ」制作協力



六甲山木匠塾「森の空中庭園」



舞多間ワークショップ



トラスツリー



地球にやさしいコンベ



しまなみ街道10thコンベ



ブルタブ収集の提案&デザイン



阪急百貨店ディスプレイ



景観に配慮した野菜づくり実験



加藤 慧  
kei Kato

1985年 千葉県生まれ  
2003年 茨城県立太田第一高等学校卒業  
2008年 神戸芸術工科大学卒業  
現在、同大学大学院修士課程

茨城県出身の加藤君は、阪神タイガースの大ファンだったということ、関西圏でデザイン系の建築を学べる大学として本学を志望し入学。環境デザイン学科で建築設計、ランドスケープ、都市計画の課題をこなすうちに「見ること、観察すること」の大事さを痛感したそうです。その後、指導教員である長濱伸貴先生が関わるプロジェクトに参加することで、多くの人と出会い、見聞を重ねることによって知識や興味の幅が広がったそうです。

建築を通してさまざまな分野のデザインを学び、他学科の学生と一緒に考えることを通して「大学では何でもできるし、多少の失敗をしても自由にできる事」を学んだ。それらの延長線上に大学院への進学があり、恩師である長濱先生との出会いによって自分自身で気付かない能力を伸ばしてもらったこと、本学の研究環境が自分にあることから数ある大学院の中から本学の大学院を選択したそうです。修士課程進学後は学内のプロジェクトとして「阪急百貨店のディスプレイ」「神戸ビエンナーレグリーンボールプロジェクト」など、主軸となって活動するほか、ポスター、DM等のデザインを外部団体から受けたり、リサイクルを目的としたブルタブ収集では、デザインを生かした収集方法を採用し注目されています。その他デザインコンペなどでも数多く入賞しています。

加藤君は学生生活を充実させるため「忙しいとは言わない」を心に決め、さまざまな事にチャレンジし続けています。そんな輝いている加藤君の今後の活躍にますます期待がふくらみます。

## Content

- クローズアップ学生
- キャンパス ニュース
- ゼミ・研究室紹介
- 芸工大今昔物語
- 学生フォーラムNEWS
- 国際交流
- 学び掲示板
- KDU-Netから

# キャンパスニュース

## ●三木市と包括連携協定を締結しました。

兵庫県三木市役所において齊木崇人学長と三木市の数本吉秀市長により「包括連携協定締結」にかかる協定調印式が2009年10月6日（火）に、執り行われました。

三木市は、兵庫県の東播地域に位置し、神戸市とも隣接し人口約83,000人の風光明媚なまちです。地場産業の「金物のまち」として有名で、酒米「山田錦」の産地としても知られています。また、数多くのゴルフ場が立地するほか、「グリーンピア三木」「三木ホースランドパーク」「山田錦の館」「吉川温泉よかたん」等、観光資源も多彩です。

今回の協定締結により、教育プログラムに現場でのものづくりを取り入れたり、学生の三木市へのインターンシップの受け入れが計画されています。

また、三木市では学生の若い感性で、伝統地場産業である「金物」のデザイン開発等の産業振興に携わったり、三木市職員の本学での講義受け入れが計画される等、官学連携が大いに進むことが期待されています。



## WAT\_Kobe Japan2009 公開プレゼンテーション

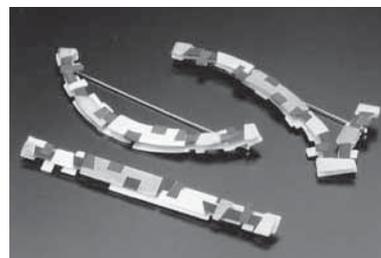
ユネスコ講座の神戸の「景観と環境デザイン」を考える国際ワークショップ、「WAT\_Kobe Japan2009」公開プレゼンテーションが、11月20日（金）に本学吉武記念ホールにて開催されました。前週から神戸市内の6つのプロジェクト対象地域に各国混成の学生チームが編成され、2週間にわたる作業を行い全12のチームによる成果発表が当日行われました。学生たちによる発表内容は、現地調査と分析を基にした都市的な課題の定義と、それを解決するための総合的なデザイン戦略に関するもので、神戸のまちに対して優れた洞察と新しい視点にもとづく多くの提案がなされました。審査員からはプロジェクトの核心に迫る厳しい質問が相次ぎ、それらの質問に対して学生たちが的確にそして具体的に回答しようという姿勢が強く感じられました。プレゼンテーションは英語、フランス語、日本語といった多言語環境のなか、活発な議論が取り交わされ盛況のうちに終了しました。今回参加の学生47名および教員13名の所属大学は以下のとおりです。

モントリオール大学（カナダ）、同済大学（中国）、ローマ大学ラ・サピエンザ校、サッサーリ大学（イタリア）、ベイルート・レバノン大学、ベイルート・アメリカン大学（レバノン）、国立建築学校（モロッコ）、ダマスカス大学（シリア）、カルダゴ11月7日大学（チュニア）、神戸大学、神戸芸術工科大学 以上11校



## ●造形表現学科 現代クラフト専攻 学生公募展入賞！ ～4年間の成果～

造形表現学科は平成18年（2006年）に開設され4年目を迎える今年、全国的な公募展での学生の活躍がみられるようになりました。技術的にも向上し、学生の積極的な制作活動が、様々な公募展で認められています。現在の入賞状況は以下の通りです。



松田尚子さんの作品

- **メタル&ジュエリー**
  - ・ 松田 尚子 (現代クラフト専攻3年) 伊丹国際クラフト展 入選
- **陶芸**
  - ・ 稲永祐貴子 (現代クラフト専攻4年) 神戸ビエンナーレ  
2009現代陶芸コンペティション 入選
  - ・ 木村のぞみ (現代クラフト専攻4年) 2009陶芸財団展 入選
  - ・ 高澤 菜穂 (現代クラフト専攻4年) 2009兵庫県展 入選
- **ガラス**
  - ・ 片山 莉加 (現代クラフト専攻3年) 第47回兵庫工芸展 公募の部 奨励賞
- **木工**
  - ・ 西川 圭佑 (現代クラフト専攻3年) 工芸都市高岡クラフトコンペティション 入選
  - ・ 米原 政裕 (現代クラフト専攻4年) Contemporary Toy of the Year 2009  
創作玩具公募展 優秀賞 こども賞



稲永祐貴子さんの作品



西川圭佑さんの作品

入選作品はどれも創造性に富み、素材や手法が多様でこれからの可能性を感じます。教員一同、学生の更なる飛躍を期待しています。学生達はガラス・メタル・陶芸・木工コースに分かれた教員指導のもと、毎日熱心に作品を制作していますので、今後の活躍に、是非、ご期待ください！

## ゼミ・研究室紹介

### 地産地消&グローバルにももの作りを学ぶ ～曾和具之ゼミ～

プロダクトデザイン学科の曾和ゼミでは、「地産地消」「グローバル(グローバル+ローカル)」をモットーに、地域に根付いたもの作りと世界に向けたデザイン活動を行っています。

地域活動では毎年、近接する高等学校の生徒たちと本学学生が主体となって「学園都市学校連携アートプロジェクト」を実施しています。今年は約100名の地域の子どもたちと一緒に、人をかたどった大きな塔を制作しました。

また、年間を通じた活動として、国営明石海峡公園神戸地区(あいな里山公園)にて稲作を行い、副産物のワラを用いた製品デザインを学生とともに作り上げながら、環境や食の問題について、インターネットを通じてグローバルな情報発信を行っています。日々の活動は、<http://www.infoguild.jp>をご覧ください。



あいな里山公園にて稲作作業



「学園都市学校連携アートプロジェクト」約100名の地域の子どもたちと

## 芸工大今昔物語

### Vol.1

本学は平成元年(1989年)に開学し、二十歳を迎えました。KDUiでは、この20年間を「芸工大今昔物語」と題し、振り返ります。

#### 「或る人形の思い出」

デザイン教育研究センター 教授 西村太一

本学開学初期は吉武泰水初代学長が中心となって「芸術工学」とは何かをテーマに、教授会後に開催される「芸術工学フォーラム」をはじめとして様々な機会によく議論がなされていた。それは決して堅苦しいものではなく、吉武先生の人柄を反映して「座談」的な印象の強い楽しい集まりなのだった。吉武先生や二代学長の鈴木成文先生の時代においては、学長の破顔一笑のもとでなごむ(というか家長の優しみのもとで暖かさに充ちた)空間と時間が学内のそこそこに存在していたのだが、それを確かに証明し象徴するものとして両先生のキャラクター人形(今の所謂ゆるキャラ)が学生たちによって作られ、この人形たちが学祭を練り歩いていた。

今のケータイが、あの頃にあったら付属のカメラで彼らを撮っておきたかったほどの、「ひこにゃん」を超える可愛らしさで、今なおその姿が臉に浮かぶほどである(この評価は私個人の独断と偏見による)

さて、私のささやかな夢なのだが、あの人形の写真が欲しい。彼らのうちに、芸工大に存在した私にとっての幸せな時間が内包されている気がするからなのである。

## クラブ紹介

### ■軟式野球部

設立 平成18年(2006)5月  
 部長 細川 卓也 (08P)  
 顧問 瀬能 徹 准教授  
 部員 52名

細川 部長



私たち軟式野球部は、関西のリーグに参加し、"芸大が一般大学をおさえ優勝する"ことを目標に、日々汗を流しています。高校球児も少なく、毎日練習ができる訳でもありませんが、野球が好き、野球部が好きという思いから忙しい授業の合間をぬい、みんながグラウンドに集まり野球をしています!そんな努力が実りリーグでの順位も確実に上がっています。名前は部ですが堅苦しくなく、マネージャーも選手も仲良くワイワイやっています!  
 初心者大歓迎!!みんな!グラウンドに集合や!!



### ■吹奏楽部

設立 平成6年(1994)6月  
 部長 山崎 啓太 (07P)  
 顧問 橋本 英治 教授  
 部員 13名

山崎 部長



吹奏楽部では、管楽器をメインに楽しく演奏することを目的としています。活動は毎週2回の練習をベースに、本番が近づくとみんな空いている時間を使って個人練習をしています。

発表の場は、主に学校行事でのステージです。2009年の芸大祭では、新入生を含めた新メンバーで初演奏を行いました。

他には、夏休みに親睦を深めるために旅行に行ったり、とても仲の良いメンバーたちです。



## ● 球技で白熱

### 芸球祭を開催!

学生フォーラム執行部では、春の芸遊祭に続く競技会として芸球祭を11月21日(土)に体育館で開催しました。一般参加やクラブ・サークル生60名余が参加し、ピンポン玉をストローで吹いて前に進む競技や、大きなゴムボールでのバレーボールなど、男女問わず誰もが参加できる球技ゲームを考案し、白熱したゲームが展開されました。

激闘の結果、チーム華城(ファゾン)が優勝、準優勝はP&G(Pets&Girl)チームでした。

学生フォーラム執行部では、芸球祭のほかにも四季行事として「芸愛祭」、「芸展祭」を行い、学生のみなさんの親睦向上、クラブ・サークルの活動成果の発表を行っています。



## ● 4年生のみなさんへ

### 卒業アルバムの制作が進んでいます!

卒業アルバム制作委員会では、4年間の学生生活の思い出を詰め込んだ記念冊子「アルバム2010」を現在作成中です。すでにゼミごとの集合写真や、個人写真、大学祭などの撮影が終了し編集段階に入っています。

4年生の皆さんへは1月中旬に「アルバム2010」の購入案内を郵送しますので、ぜひとも購入をしていただき、末永くお手元においてください。

また、2月初旬の卒展説明会時(4年生参加必須)にも、購入のご案内を配布します。



## ● 学園夏まつりの協力に対し感謝状をいただきました

学園都市の恒例イベント「学園夏まつり」が学園都市駅横のユニバードームで開催(8月1日~2日)され、本学からは写真部とスーパーレンドリングサークルが出展し、市民の方々にそれぞれの活動をアピールしました。

これらの活動参画に対し、学園都市連合自治会より感謝状をいただきました。出展学生のみなさんは、来場者とのふれあいを通して活動成果を発表できたことに加え、地域貢献や学園の建学理念である「世に役立つ人物の養成」に沿った活動ができました。

スーパーレンドリングサークル  
 出展代表 竹内啓二さん(08P)



# 就職活動を始めるにあたって

3年生は昨秋ぐらいから就職活動をスタートさせている頃でしょう。そこで実りある就職活動のための留意点をアドバイス。

## 【授業・実習には必ず出よう】

当り前のことですが「授業に出席する」ことです。本学は講義科目に加え、実習が占める割合が多くなっています。課題も多く出され、それらをしっかりとこなしていくことは学生のみなさんの基本中の基本です。

## 【社会の動向を知ろう】

新聞を読んでいますか？ ニュースを見えていますか？ 携帯やインターネットからの情報収集だけで足りていると思っている人は、今から新聞、テレビのニュース、ビジネス雑誌からも情報を得て、世の中の動きを身に付けてください。

## 【自分を知らう】

自分がどのような職業・職種に向いているかを見極めるためには、きちんとした自己分析が必要です。“楽そうな職業だ”、“なんとなくやってみたい仕事だ”で仕事を選ぶのではなく、興味・関心の方向、将来の生き方などについてよく考えてください。友人だけでなく年齢の違う人（教員、父母）とも接することで違う視点から「自分自身」がどんな人間かをみてもらうのもよいでしょう。

## 【キャリアセンターを訪ねよう】

就職活動は思った以上に長期戦となります。自分に合った業界・企業探し、就職活動の方法、各種講座の案内など、みなさんの今後の進路選択に役立つ、そして応援するところです。気軽に来て、相談してください。「はじめて受けた会社の面接に落ちたから、自分はもうだめだ」と決めつけてしまう人が多くいます。何度もチャレンジし、挫折する中で、人として大きく成長していきます。誰でも落ち込むことはあります。そんな時にもキャリアセンターを訪ねてください。

—教学課 編集—

## ★ ただいま就活真っ最中 ★ 森分 優太（プロダクトデザイン学科3年）

僕は「発想力」「表現力」「伝達力」といったデザイナーの基本となるスキルを学ぶために芸工大を選びました。入学後デザイナーを目指す同志たちとの出会いは、情報交換やコミュニケーションを取るなかで、切磋琢磨しあえる環境があって、抜群に充実していると思います。

昨年、三菱鉛筆株式会社のインターンシップに応募し、平成21年10月12日～13日の2日間参加しました。テーマとして掲げられた「潜在的ニーズの顕在化～企画デザイン～」に取り組み、店頭のパOP広告やペンのパーツ材料を考慮してのデザインなどを行いました。

学内の授業では味わえない緊張感。そして現場から見た知識や技術を習得できる有意義な時間だったと思います。

リーマンショック以降、日本の不景気は、デザイン関連企業の採用に大きく影響し、厳しい戦いになると日々感じています。しかし、僕が思う就職活動は“希望でなく意志”をもって愚直に前に出て、いままでも自分が習得した技術や知識を生かし闘っていこうと思っています。



## 国際交流

### ◆ 台湾の国立高雄大学と協力協定締結

2009年9月30日に台湾の国立高雄大学と協力協定書ならびに学生交換協定書を締結しました。本学では、近隣アジア諸国との国際交流を推進すべく、すでに4大学と協定を締結していますが、このたび教員間での研究を通じた交流が10年来ある国立高雄大学と協定を結ぶことになりました。

国立高雄大学へは、2008年に本学教員が研究視察のため訪問しており、同年11月には国立高雄大学より教職員3名が本学を訪問するなど以前より交流を深めていました。

この協定締結により海外協定校は、アジア諸国の5校と、イギリス1校の6大学となります。今年4月に本学はアジアデザイン研究所の設立を予定しており、アジアのデザイン系大学とのネットワークがさらに強化されました。



### ◆ Bite-Size KDUI

今回は、レバノンの留学生 ギルバートさんにクリスマスや年末年始の過ごし方について聞いてみました。

レバノンでも、海外の映画（主に英米圏）で見られるように、クリスマスはターキーやブッシュドノエルを食べるそうです。ギルバートさんはおばあさんの家に20人ほどの親族が集まってパーティをするそうです。（これでも集まる人数は少なくなったそうです！）小さい子どもがいれば誰かがサンタの格好をしてプレゼントを渡します。パーティの後はクリスマスキャロルを聞きに教会へ行きます。とても綺麗な歌声なので、多くの人が聞きに行くとのこと。

クリスマスデコレーションは街ごとにテーマを決めて装飾をしたり、家ではキリストの誕生のシーンの装飾を作ったりするとか。（どんなシーンか想像できますか？）

年始は友達とパーティなどでお祝いして過ごすようです。国や地域によって、年末年始のイベントや“しきたり”はさまざまです。周りの留学生にも聞いてみてください。意外なことが分かるかもしれません。



## ◆ 警報発令による休講について ～取扱い基準が変更になりました!～

### ◎ 警報発令等 (2009年11月より適用)

「阪神」または「播磨南東部」のいずれかに、「暴風警報」が発令された場合は、次のとおりに授業を取り扱うものとします。

午前7時までに解除された場合	平常どおり授業を実施
午前10時までに解除された場合	3時限目から授業を実施
午前10時を超えて解除されない場合	終日休講

※授業時間中に発令された場合は、都度取扱い等を決定します。

※交通機関が運休した場合、その他取扱いには変更はありません。

※「KDU CAMPUS LIFE MANUAL2009」52ページの修正をお願いします。

## ◆ 卒業式のお知らせ

2009年度卒業式は、下記の日程で挙行します。また大学、教育後援会、KDU-Netとの共催で祝賀会「いってらっしゃい」も行います。

保護者の方々のご出席も可能ですが、卒業式会場の都合により、別会場において映像でご覧いただく場合があります。また郵送等々のご案内は別途行いませんのでご了承ください。

### ◎ 卒業式：平成22年3月21日(日)

- ・卒業式 10:00～(受付開始9:30～) 於：吉武記念ホール
- ・学科・研究科行事 11:00～ 於：学科棟等
- ・祝賀会「いってらっしゃい」13:15～ 於：体育館

## ◆ 学費の納入について

本学の学費については年4回の納入となっております。

平成21年度後期(第2回)並びに平成22年度の納入期日については、次のとおりです。

納入期日に残高不足等のため口座振替できない場合は、滞納となりますので前日までに必ずご入金ください。

納入日 平成21年度 後期(第2回)：平成22年1月20日(水)

平成22年度 前期(第1回)：平成22年4月20日(火)  
 前期(第2回)：平成22年7月20日(火)  
 後期(第1回)：平成22年10月20日(水)  
 後期(第2回)：平成23年1月20日(木)

なお、学費を期日までに納入することが困難な場合は、教学課 (tel: 078-794-5025) にご相談ください。所定の手続きにより、納入期日を1ヶ月間延期することができます。

(後期第2回分学費の延納申請はすでに終了しています)

## ◆ 神戸芸術工科大学ウェブサイトリニューアル

今年、神戸芸術工科大学ウェブサイトがリニューアルされます。新しいサイトでは、芸工大の今を伝えるポータルサイト『Creators' ハーバー』や、教員・在学生・卒業生の皆さんが運営しているサイトの更新情報をチェックできる『ココイロ(個々色)Museum』など、様々なコンテンツが加わります。

みんなで作り、みんなで楽しむ新サイトは1月中の開設を予定しています。URLは変わらず<<http://www.kobe-du.ac.jp/>>です。ぜひアクセスして、ご意見・ご感想を、本館2F広報入試課(topics@kobe-du.ac.jp)までお寄せください。



## ◆ 広報入試課から学生のみなさんへ

広報入試課では、在学生みなさんの学内・学外の活動情報を集めています。例えば、「コンペでの受賞」「クラブ活動の成果」「ボランティア活動」「ワークショップや展示会の告知」etc・・・

お寄せいただいた情報は、大学ホームページや広報誌等でどんどん学外に発信していきます。

大学での活動情報を積極的に発信し、皆さんの大学生活をより楽しく充実したものにしていきましょう。どのような情報でもかまいませんので、本館2階エレベータ横の広報入試課窓口又はtopics@kobe-du.ac.jpまで情報をお寄せください。

お待ちしております!!

## KDU-Net(同窓会)から

KDU-Netでは、今年も卒業生相互の交流、人脈づくりの場として「卒業生交流会」を神戸と東京で開催することとなりました。卒業生には年末に案内状をお送りしていますが、未着やご存知ない方がありましたら、KDU-Netのホームページでもお知らせしていますのでご覧ください。http://www.kdu-net.org/

### ■ 卒業生交流会

神戸：2月13日(土) 18:30～20:30  
 AMAVEL-アマーベル-  
 神戸市中央区小野柄通6-1-9 078-242-7080 (ポータライナー高架沿 地下1階)

東京：2月21日(日) 13:30～16:00  
 アーキテクトカフェ汐留  
 東京都港区東新橋2-14-1コモディオ汐留1階 03-5733-4231

※両会場とも昨年度と会場が変わっていますのでご注意ください。



昨年の神戸会場の模様